

## つながり合う 地域包括医療・ケアを目指して



国民健康保険 飛驒市民病院  
病院長 黒木嘉人

学生多職種連携実習in飛驒2015.03.13-15

飛驒市民病院  
岐阜県と富山県との県境に位置する



飛驒市民病院

飛驒市人口 26,016 高齢化率 35.40% (平成26年8月1日)  
神岡町人口 8934 高齢化率 41.27% (平成26年8月1日)

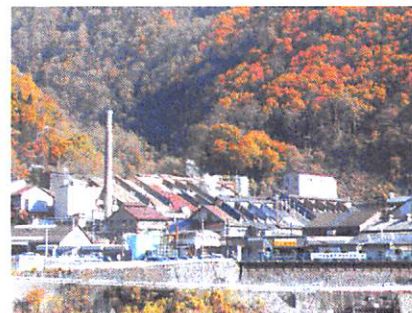


## 神岡町



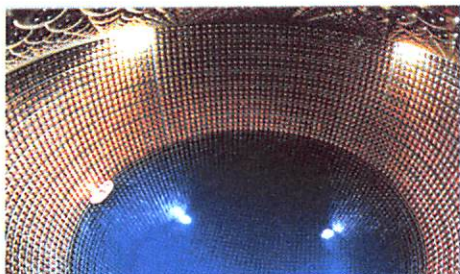
清流と緑に囲まれた静かな町

## 町の産業 神岡鉱山



平成13年6月に鉱石の採掘を中止しましたが、  
今も町一番の企業です。

## スーパーカミオカンデ

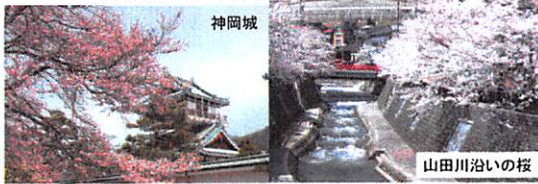


ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊教授の  
東京大学宇宙線研究所

## レールマウンテンバイク ガッタンゴー



## 飛騨市神岡町の春



神岡祭

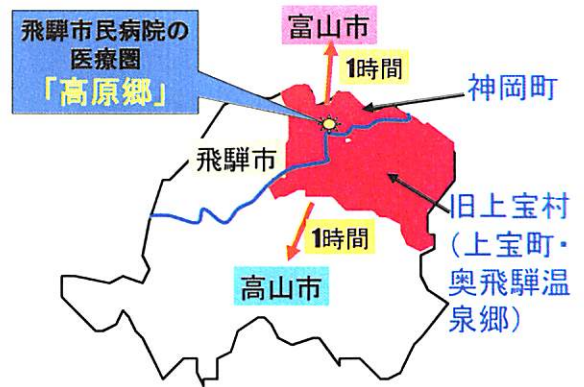
## 飛騨市民病院の基本理念



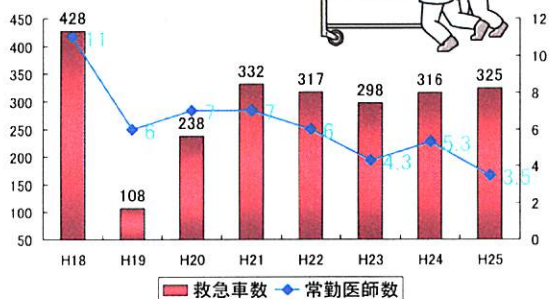
- 一、思いやりの心
- 一、信頼される医療
- 一、地域に愛される病院

## 飛騨市民病院 概要 (平成25年10月)

- 【病床数】 91床  
(一般病床58床、医療療養病床33床)
- 【医師数】 常勤4名
- 【診療科】 (青:非常勤)  
内科、外科、総合診療科、緩和ケア  
(循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内科、  
整形外科、小児科、脳外科、婦人科、耳鼻咽喉科、  
眼科、皮膚科、泌尿器科、心臓血管外科)



## 救急車の受入状況



平成19年度に急激な医師不足となったため当年は救急車の受け入れ制限をしたが、翌年から受け入れ制限を解除した。

## 画像診断装置

MRI装置 (1.5T)  
(平成21年9月)



マルチスライスCT (80列)  
(平成26年3月)

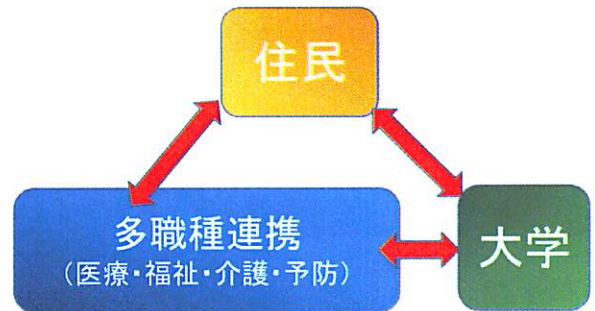


## 電子カルテ



平成21年11月1日より導入

## つながり合う 地域包括医療・ケア



多職種間のつながり  
(医療・福祉・介護・予防)



## 緩和ケア

- 緩和ケアチーム（緩和ケア認定看護師、医師、病棟看護師、薬剤師、理学療法士）
- 緩和ケア外来開設（平成19年4月）



岐阜新聞

## NST(栄養サポートチーム)

- 医師、看護師、栄養士、理学療法士、薬剤師、歯科衛生士によるチーム医療



## ベッドサイド 嚥下内視鏡検査



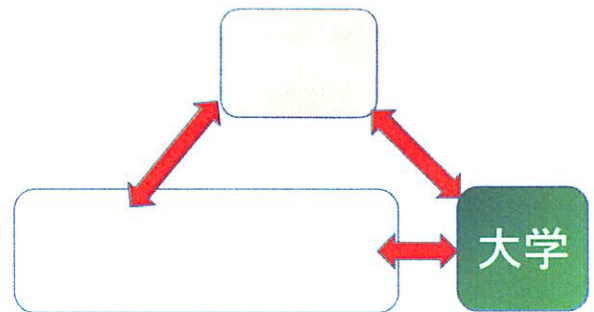
## 多職種による病棟総カンファレンス



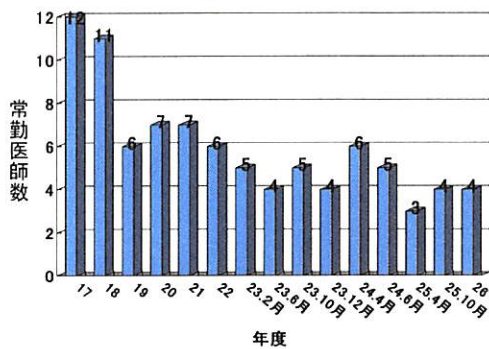
## 行政区域を超えた 「高原郷地域包括医療・ケア連携会議」



## つながり合う 地域包括医療・ケア



## 常勤医師数が減少し厳しい医師不足



・医師不足の解決策として、平成24年度から富山大学の地域医療実習事業(神通川プロジェクト)が開始された。

・岐阜大学医学生のM3地域配属実習も同時期に開始された。

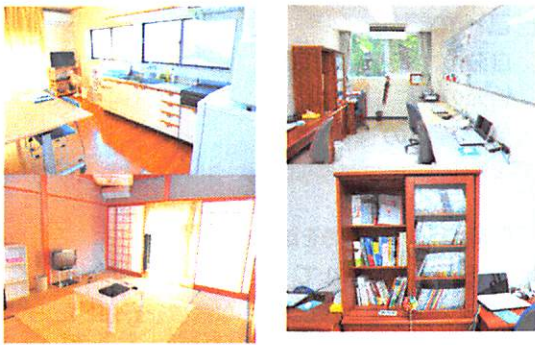


## 神通川プロジェクト



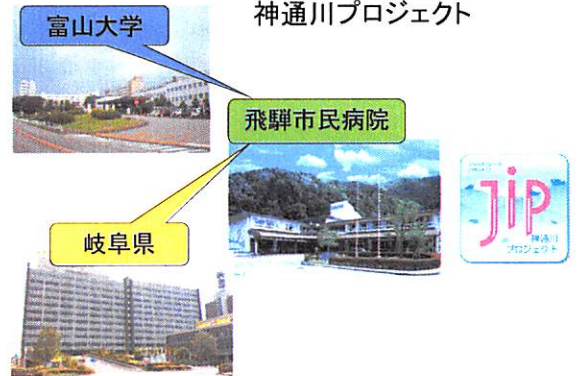
- 富山大学地域医療支援学講座(有嶋拓郎教授)、総合診療部(山城清二教授)と協力。
- 当院を中心に隣接する介護・福祉施設を一体の教育機関と考えて、医学生や教官の往来を密にして地域医療を8年(医学部6年+初期研修2年)一貫型の学習や修練の場とするものである。
- その資金には**岐阜県地域医療確保事業費補助金**が充てられ、県を越えた協力体制による事業である。

### 専用研修室、専用宿舎、教材等の整備



## 「人材は富山から、資金は岐阜から」

### 神通川プロジェクト



## 岐阜大学のM3地域配属実習



- 医学部3年生を対象に、岐阜大学地域医療医学センター(村上啓雄教授)と協力して、地域包括医療ケアの実習を5週間行う。

岐阜大学地域医療医学センター(村上啓雄教授)



富山大学地域医療支援学講座(有嶋拓郎教授)



## 研修医・富山大学学生・岐阜大学学生と一緒に研修

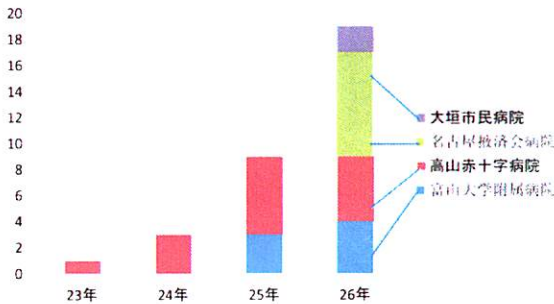


## 地域医療実習受け入れ実績

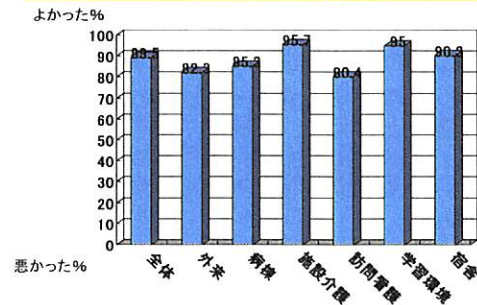
年度	富山大学医学生 神通川プロジェクト	岐阜大学医学生 M3地域配属実習	高山赤十字病院 研修医	富山大学初期 研修医	名古屋被済会 病院研修医	大垣市民病院 研修医
23	-	-	1	-	-	-
24	45	3 (夏1)	3	-	-	-
25	22	2 (夏4)	6	3	-	-
26	12	3	5	4	8	2
合計	79	8 (夏5)	15	7	8	2

平成26年度  
合計19名の  
研修医

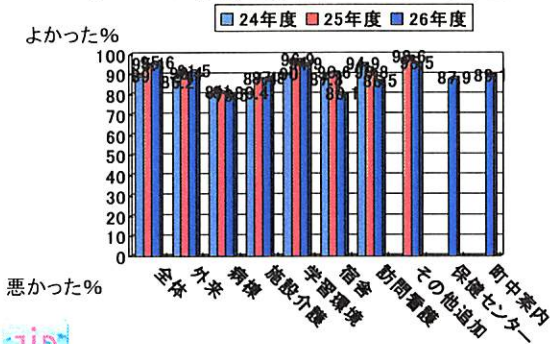
## 研修医の受け入れ人数



## 研修医の満足度アンケート結果 (VAS平均値)



## 学生の満足度 (VAS平均値)



## アンケート記載の分析

- 自己への課題
  - ✓ 自分の知識不足を感じ学習意欲がわいた。
  - ✓ 地元の方に愛され支えあうような医師になりたい。
- 大学病院との違い
  - ✓ 医師やスタッフが優しい。大学は冷たく重たい雰囲気。
  - ✓ 医師が幅広い疾患を診ていた。
- 地域の実情に触れて
  - ✓ 医師の偏在についてリアルな危機感を感じた。大学解決できる策を考えることが実習をした学生の課題

## アンケート記載の分析

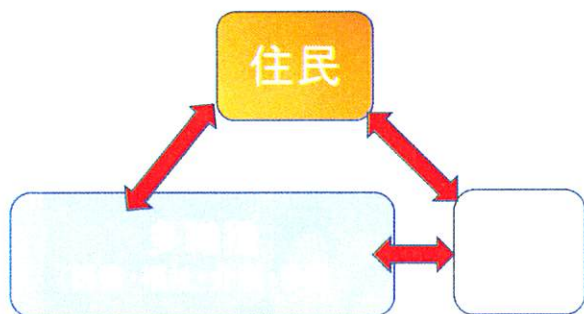
- 実習への評価
  - ✓ 申し分のない実習、今後飛騨市民病院には自然と人が集まると思う。
- 指導者への評価
  - ✓ とても熱心。もう一度来たい、ここで働きたいと感じる実習
- 今後の課題
  - ✓ 町を歩きわったり地域に対しての愛着がわいた。な取組をしたかった。



## 今後の医師・人材確保へ

- 岐阜大学地域卒医師の配属への期待(平成28年度から)
- 富山大学総合診療部と連携した日本プライマリ・ケア連合学会認定 総合診療医育成—後期研修プログラム(とやまNANTO-RENKEI総合診療医養成プログラム)
- 飛騨市の医師、看護師の奨学金制度
- 医学・薬学・看護学生のためのサマーセミナー(高山市・白川村・飛騨市と共同)

つながり合う  
地域包括医療・ケア



地域医療シンポジウム  
守ろう 地域の命と健康  
2012年病院祭



飛驒市市長、地域住民代表6名と病院長の合計8名のパネラーが出演

飛驒市民病院を守る会  
活動計画



- 出前講座  
危機的となっている医師不足の現状や当院の対策や取り組んでいる医療の内容などについて伝える出前講座を各地区の公民館などで開催。
- 会報誌
- 病院祭の協力  
いずれは会として開催へ
- 医学生や研修医との交流会
- 会員を募りながら組織の拡大を目指す

病院祭 2012年



飛驒市民病院を  
守る会の発足



パネラーで出演した飛驒市神岡町と高山市上宝町、奥飛驒温泉郷の住民代表者が中心メンバーとなって、「準備委員会」を経て平成25年6月に「飛驒市民病院を守る会」が設立された。

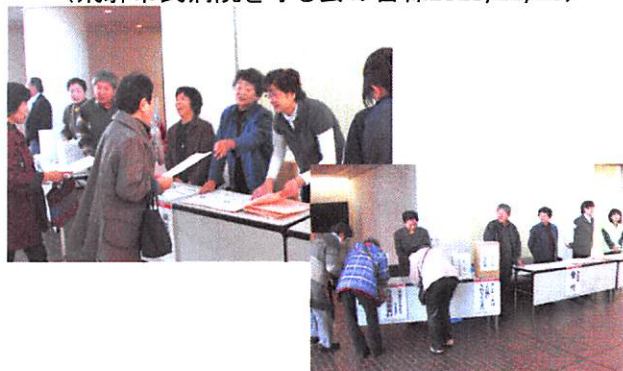
第1回飛驒市民病院を守る会 会議  
2013.6.26



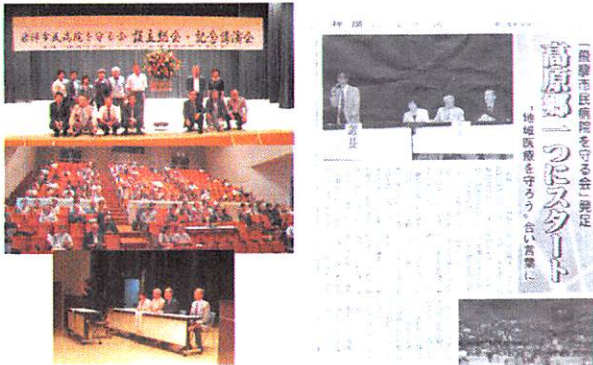
病院祭の受付風景



(飛驒市民病院を守る会の皆様2013/11/16)



飛騨市民病院を守る会 会員数約1000名  
 設立総会・記念講演会 2014年6月14日



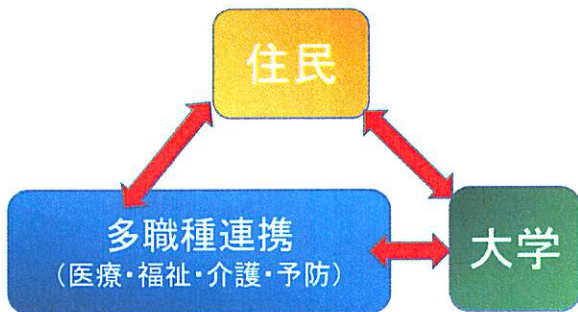
飛騨市民病院を守る会の方と



座談会

神岡とんちゃん

つながり合う  
 地域包括医療・ケア



最後に

- 今後も超高齢化地域でも安心して暮らせるよう、地域包括医療・ケアの「つながり」を益々発展させていかなければならない。

皆さん、待ってま〜す！！



ご清聴ありがとうございました



神岡祭り 神楽社中として参加